

平成29年度国際消防救助隊の連携訓練の実施

参事官付

国際消防救助隊は、海外における大規模災害時に被災国政府又は国際機関からの要請に応じて、「国際緊急援助隊の派遣に関する法律」に基づき派遣され、国際緊急援助隊救助チームの中核として、捜索救助活動を実施しています。これまで20回の派遣実績があり、本年9月に発生したメキシコ地震災害への派遣は記憶に新しいところです。

消防庁では、あらかじめ77消防本部599名の隊員を国際消防救助隊員として登録し、国境を越えた被災地で円滑に救助活動を実施するための出動体制を構築しています。

国際消防救助隊員が海外被災地で適切かつ安全な捜索救助活動を実施するためには、国際的なガイドラインに関する知識及びこれに準拠した技術を修得する必要があります。に加えて、国際緊急援助隊救助チームは警察、海上保安庁といった複数の組織で構成されていることから、登録消防本部間だけでなく関係機関との連携強化を図る必要があります。

消防庁では、平成24年度から複数の消防本部が合同で実施する国際消防救助隊の連携訓練を推進していますが、今年度は、札幌市消防局及び堺市消防局において、それぞれ東日本及び西日本を中心とした登録消防本部の参画を得て連携訓練を実施しました。

札幌市消防学校で実施した連携訓練では、各登録消防本部、北海道警察本部、第一管区海上保安本部の合計40名の隊員が国際緊急援助活動に必要な都市型捜索救助技術（ブリーチング、ショアリング、ロープワーク等）を含む想定訓練を実施しました。

訓練は各ブースに分かれて実施し、医療班や構造評価専門家との連携など隊員は実践さながらの訓練に積極的に取り組みました。



梁破壊



ロープワーク



医療班との連携



ブリーチング

札幌市消防局	
実施日	平成29年8月17日(木)、18日(金)
実施場所	札幌市消防学校
参加隊員	国際消防救助隊員32名(18消防本部) 第一管区海上保安本部4名 北海道警察本部4名
指導者	国際緊急援助隊救助チーム技術検討員1名 国際消防救助隊指導員9名 医療班11名 構造評価専門家1名



ショアリング



ドッグサーチ

堺市消防局及び消防訓練場で実施した連携訓練では、国際緊急援助に係る近年の動向や医療班との連携、資機材の取扱いの注意点等について、座学講習を実施した後、都市型捜索救助技術に必要な実技訓練を、大阪府警察本部、第五管区海上保安本部の隊員を含む48名が実施しました。

訓練では救助犬によるサーチ活動を含む初動活動や、医療班との緊密な連携が求められるCSR／M（狭隘空間での救助・医療活動）などを実施し、捜索救助に関する知識・技術を習得しました。



クリッピング

堺市消防局	
実施日	平成29年10月5日(木)、6日(金)
実施場所	堺市消防局及び消防訓練場
参加隊員	国際消防救助隊員40名(25消防本部) 第五管区海上保安本部2名 大阪府警察本部6名(ハンドラー4名含む)
指導者	国際緊急援助隊救助チーム技術検討員2名 国際緊急援助隊救助チーム技術アドバイザー1名 国際消防救助隊指導員8名 医療班11名 国際緊急援助隊事務局1名



狭隘空間での救出



ASR2（救助サイトの特定等）活動



ブリーチング

国際消防救助隊の活動は、治安、言語、気象、文化等日本とは異なる環境下での捜索救助活動という過酷な任務であることから、日頃からの訓練や知識の習得といった準備は必要不可欠です。

今年度、消防庁では、上記2箇所での国際消防救助隊の連携訓練を通じて国際消防救助隊員の知識・技術の向上に努めましたが、各登録消防本部においても、平素から近隣の登録消防本部や関係機関との更なる連携訓練を自主的かつ積極的に実施されますようお願いいたします。

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部参事官付 柿本、長戸
TEL: 03-5253-7507